

曾於市の出来事
お届けします！



まちの話題

SOO City's TOPICS

SOO City
NEWS

宝くじ助成で音響機器などを整備



岩北校区公民館



菅牟田校区公民館

平成29年度コミュニティ助成事業により、岩北校区公民館に音響設備や石臼などの備品を、菅牟田校区公民館に音響設備や芝刈り機、物置などの備品を整備しました。

この事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している助成事業です。地区公民館組織等が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連帯感と自治意識を盛り上げることを目指し、一般財団法人自治総合センターが、活動に直接必要な設備の整備を支援しています。

この備品が、今後の公民館行事に積極的に活用され、地域の活性化につながることが期待されます。

SOO City
NEWS

農業発展のために新しい力を



10月11日、市役所本庁で新規就農者支援対策事業認定書交付式が行われました。

この制度は、曾於市の農業を担う新規就農者を確保支援するため、認定後2年間にわたって毎月5万円から15万円を支援するものです。

今回は5人が認定されました。認定者には、市長から1人ずつ認定書が手渡され、激励の言葉がありました。認定者の皆さんは「自分の目標に向かって頑張ります」と力強く抱負を述べました。

SOO City
NEWS

財部南小でも花育活動



9月21日、財部南小学校で「花育活動」が行われました。

この活動は、JAそお鹿児島花き部会会員が旧曾於郡内の学校に出向き、子どもたちへ花について学びの場を提供し、親しんでもらう活動です。

講師は、大隅町でスプレー菊を生産している小瀬健一さん。「旧曾於郡はスプレー菊の一大産地。この活動を通して菊を好きになってもらいたい」と話しました。

子どもたちには、スプレー菊のプレゼントがあり、興味津々の様子でした。



10月18日、末吉総合センターで「曾於市戦没者追悼式」が举行されました。

式では、献詠や代表者による献花がおこなわれ、参列者が戦没者の冥福を祈りました。平和メッセージでは、末吉中3年の末廣愛恵さんが、曾祖父から聞いた戦争体験をもとに戦争の悲惨さと平和の大切さ、そして今の自分に与えられた役割について朗読しました。

平和と繁栄の陰には多くの尊い犠牲があったことを後世に伝え、戦火のない平和への誓いを新たにしました。



10月11日、新地公園グラウンドゴルフ場で「第1回曾於市長杯G・G大会」が行われ、700人を超える参加者が汗を流しました。

この施設は、思いやりふるさと基金（ふるさと納税）を活用して整備。総面積2.64haの広大な敷地には、つつじコース、さくらコース、かななコースが設けてあり、10月1日にオープンしました。

【大会成績】

団体の部
優勝 アイライクG・Gクラブ
個人の部
優勝 津留いつ子（下岡別府クラブ）



10月25日、そお生きいき健康センターで子育て支援センター主催の「ミニミニ運動会」が開催されました。

この運動会は今年で11回目、乳幼児を持つ子育て中の方々を対象に毎年行われています。

当日は40組を超える親子が参加。「おさかなゲット」の競技では、お母さんに引っ張ってもらった船で大きな魚を釣り上げ、子どもたちは大喜びの様子でした。かわい子子どもたちのこれからの成長が楽しみです。



10月18日、教育長室で瑞宝双光章を受賞された外前田盛雄さんの伝達式が行われました。

瑞宝双光章とは、公共的な職務に長年にわたり従事し、功績を積み重ね、成績を挙げた方に対して授与されます。

外前田さんは、昭和25年に志布志町立四浦小学校教諭として赴任して以来、月野小学校や岩川小学校で教鞭を執り、県の教育振興に多大なる貢献をされました。退職後は、出身地である末吉町で社会教育指導員として、地域の社会教育活動にご尽力されました。



10月27日、市役所本庁で新規就業者支援対策事業認定書交付式が行われました。

この制度は、曾於市内において新規就業者を確保・支援するため、認定後2年間にわたって補助金を交付するものです。

今回の認定者は7人。認定者には市長から認定書が手渡され、激励のことがありました。

認定者の皆さんは「商工業を通して、地域の発展の一助になるよう頑張ります」と力強く抱負を述べました。



10月27日、高齢者を中心とした地域貢献活動団体の表彰を受けた『そこの歴史ゼミナール』の皆さんが、市長へ報告に來られました。

同団体は、県が推進する元気高齢者チャレンジ推進事業において、高齢社会における地域づくりに大きく貢献していると認められました。これまでの活動は、田の神さあ・石橋・水車・でこん川等の調査と展示会の開催。史跡の清掃は定期的に行っています。

会員の寺島さんは「我々が調査したものを皆さんに見ていただくのがやりがい」と話しました。



11月13日、市食生活改善推進員連絡協議会の皆さんが、県国民健康保険団体連合会から表彰を受け、市長室へ報告に來ました。

同団体は、10月27日に行われた健康づくり推進員大会において、50年の長きにわたる健康づくりボランティア活動が評価され、永年活動団体表彰を受賞しました。

会員は、様々なイベント等へ出向き、生活習慣病予防のための食生活改善指導や子どもたちを対象に食育指導などをボランティアで行っています。



10月31日、大隅町岩川出身の西段隆美さん（福岡県宗像市）が「困っている人に配ってほしい」と昨年に引き続き、宮城県産ひとめぼれ15トンを曾於市に寄付されました。

西段さんはこれまで、ふるさと曾於市の発展に役立ててほしいと寄付をされています。

今回いただいたお米は、市が把握している生活困窮者や児童・高齢者・障害者施設等へ配布されました。今後、もち米7トも寄付される予定です。